




患者氏名： \_\_\_\_\_ 様 入院病棟： \_\_\_\_\_ 病棟 主治医： \_\_\_\_\_ 受け持ち看護師： \_\_\_\_\_ No1/1

日付	/		/
入院日数	1 日目		2 日目
イベント	入院日 : 検査前	検査後	退院日
目標 <small>毎日看護師と評価します</small>	<input type="checkbox"/> 検査について理解することができる <input type="checkbox"/> 合併症（嘔気・痺れ・知覚鈍麻など）について理解することができる	<input type="checkbox"/> 嘔気がない <input type="checkbox"/> 痺れ・知覚鈍麻が無い <input type="checkbox"/> 頭痛がない <input type="checkbox"/> 検査後の創に発赤・熱感・腫脹・疼痛が無い	<input type="checkbox"/> 嘔気がない <input type="checkbox"/> 痺れ・知覚鈍麻の悪化がない <input type="checkbox"/> 頭痛がない <input type="checkbox"/> 検査後の創に発赤・腫脹・熱感・疼痛が無い
検査	脊髄（神経）の圧迫部位を確認する検査です。レントゲンでは神経が写らないため、神経の周りに造影剤（レントゲンに写る薬）を注射して、圧迫部位を確認します。検査はレントゲン室で横向きに寝て、身体を丸めるような姿勢を取っていただき、腰から造影剤を注射します。その後、レントゲンの撮影を行います。造影剤は自然に体外へ排泄されるものですが、まれに造影剤でアレルギー症状や頭痛を生じる場合があるため、検査日は点滴を行い、造影剤の排泄を促します。		退院基準： <input type="checkbox"/> 神経症状や頭痛・嘔気無く退院することができる
内服注射	検査の約一時間前から点滴を開始します 	検査が終了したら点滴を中止して針を抜きます 夕食後から通常通り内服が始まります	
治療処置			腰に貼ってある絆創膏を看護師が剥がし、創に異常が無いか確認します
食事 飲水	朝食・昼食は食べて構いません。朝食後の内服薬も服用して良いです。但し、糖尿病治療薬やインスリン注射を行っている方は指示があります。	検査終了の2時間後から飲水を開始します。造影剤排泄のため、翌日朝までに1.5~2リットルの水分を取ってください。飲水開始後に吐き気が無ければ  夕食から食事が食べられます	制限はありません
清潔	制限はありません	検査当日はシャワー・入浴ができません	
排泄	検査前に排尿を済ませてください	検査終了の2時間後から自力でトイレに行けます。それまでは尿瓶を使用するか、どうしても我慢が出来ない場合は最低限の回数で看護師付きそいのもと車椅子でトイレに行くことは出来ます。	一人でトイレに行けます 頭痛などの気分の悪いときは看護師が付き添いますので、ナースコールを押してください
安静活動	制限はありません	検査終了後2時間は、基本的にはベッド上安静で、飲食は出来ません。2時間頭を起すことはできません。2時間後からは、歩行出来ますが、最初の歩行時はふらつくことや頭痛を起すことがあるため、必ず看護師を呼んでください。頭を下げたり、力んだりしてはいけません。	頭痛が無く、気分が悪くなければ問題ありません。退院後に頭痛が起きたり、頭痛が強く続くようなら整形外科外来へ連絡してください。
説明指導	病棟案内・入院時オリエンテーション・検査についての説明があります	検査結果について、主治医から説明があります 	退院手続きがあります。手術予定日が決まった方には、次回入院についての説明があります

注) 現時点で考えられる予定であり変更になることがあります